



1980/10 No.14



愛をとこしえに

県葬式次第

1. 知事公舎へ御遺骨お迎え
2. 御遺骨知事公舎出発
3. 式次第の概略説明及び故人の経歴紹介
4. 御遺骨出迎え(祭主・葬儀委員長)
5. 御遺骨入場 先行(総務部長)―先導(祭主)―御遺骨(遺族代表)―葬儀委員長―企業管理者―ボースカウト
(「主よ、人の望みの喜びを」=ハツハ作曲=演奏)
6. 叙位・叙勲伝達 正4位勲2等瑞宝章
7. 式次第(司会・知事公室長)
 - ①開式
 - ②黙禱
 - ③祭文(祭主)
 - ④弔詞(県議会議長)
 - ⑤弔辞 総理大臣・全国知事会会長
県選出国会議員代表・県内市町村代表・友人代表
 - ⑥弔辞奉呈
 - ⑦弔電披露
 - ⑧在りし日を偲んで(生前の声など)
 - ⑨献楽(富山室内合唱団「オーゼの死」)
 - ⑩代表献花 祭主・葬儀委員長・喪主・夫人・喪主夫人・河合夫妻
 - ⑪特別献花 大臣・国會議員等関係者100名
 - ⑫謝辞(葬儀委員長・遺族代表)
 - ⑬告別式(参会者・一般弔問者献花)
 - ⑭御遺骨退場



55年6月定例県議会で提案理由説明する中田富山県知事。これが最後の議会出席となった。

『人の和と愛』が口ぐせ

謹しんで御冥福をお祈りいたします

本日午前三時三十五分、中田幸吉富山県知事が、入院先の東京築地の国立がんセンターで死去されました。

九月十八日早朝、号外やテレビで伝えるこの悲報に、県民は大きなショックを受けた。あのジャンボな、そして優しい目、豪快さと繊細さを併せ持ち、まじめで庶民的。「人の和と愛」が口ぐせであった中田富山県知事。山を、自然を愛し、スポーツ万能でカメラはプロ並み、クラシック音楽は特にハツハの愛好者だったあの中田幸吉氏。

昭和四十四年十二月二十七日、公選四代目の富山県知事に初当選。以来三期、十年九カ月にわたり「愛と繁栄の県政」をキャッチフレーズに「住みよい富山県をつくる」「富山県に繁栄をもたらす」「若い世代を育てる」を三本柱として推進してきた中田県政。

県内のマスコミの調査(今年八月)では、長期の療養中にもかかわらず支持率七十超え、四人のうちほぼ三人が支持するという数字が物語るように、その業績は実に大きいも



故中田知事略歴

- 大正4年12月7日生
- 昭和15年3月 東京大学農学部林学科卒業
農林省山林局へ入る
- 昭和19年1月 兵役
- 昭和20年10月 復員、農林省林野局勤務
- 昭和29年6月 長野県林務部林産課長
- 昭和35年5月 長野県林務部長
- 昭和38年1月 長野県農政部長
- 昭和39年6月 林野庁指導部林道課長
- 昭和41年2月 富山県農地部長
(農地林務部長)
- 昭和44年12月 富山県知事
- 昭和55年9月18日死去(64歳)

のがあった中田幸吉富山県知事は、いまはない。(享年六十四歳)。

「ひかりを北陸に」と北陸新幹線建設に、異常とも思えるくらいに情熱を傾け、いよいよ着工を目前とした時に…。そして今秋待望の、地方では稀有とも言える県立近代美術館が完成するというこの時に…。

「県民は言う」
県民の心をよくつかんでいた。信念のある人だった。頼りがいのある人だった。さん新

28日 県民会館で富山県葬



県葬を全会一致で可決した9月県議会(後姿は瑛生子夫人ら御遺族)

な構想で県政を進めてこられた。手堅い県政を行つた。温和な性格であつた。県民生活の安定と幸福によく尽くされた。高校の三七七体制は正の決断が忘れられない。誠実な人柄で、思つたことを率直に話された。意見にはよく耳を傾けてくれた。ゆつたりした大人の風格。やさしいお父さんという感じ。心の広い政治家。稀にみるベストドレッサー。気づいてウソのない人柄。etc. そして、「そんなに病気が重かつたとは…」と涙ぐむ県民。

九月十八日、国立ガンセンターから杉並区上井草の自宅に、無言で帰宅した故中田幸吉富山県知事は、瑛生子夫人に涙ながらに迎えられ、その夜は近親者中心にお通夜。
十九日午後二時から近親者らによって、しめやかに密葬。
二十二日、御遺骨は羽田から小松へ。在りし日に情熱をかけた基幹交通網の主軸、北陸高速自動車道を一路富山へ。午後四時五十五分、なつかしの県庁へ

到着。庁舎の付近一帯を埋め尽くした県民や関係者と対面。
昭和四十一年二月に農地林務部長として赴任以来、知事在職三期十年九カ月を併せて十四年七カ月間、部長時代には第二十回植樹祭を見事に遂行、知事となって県民の信託に応え、「愛と繁栄」の県政を推し進めた城



中田知事の急死や県政のあわたたしさを伝える各社の報道新聞紙面

「富山県庁」
善政を追憶するすべての人達の胸に去来するものは何か。熱い悲涙が溢れる惜別の時であつた。静かに離れていく御遺骨に、在りし日の中田知事の遺徳をしのび、しばし茫然と立ちつくしていた。
やがて御遺骨は、知事公舎を



正4位勲2等瑞宝章に叙勲(本式場で)された故中田幸吉富山県知事富山県葬は県民会館に鈴木総理大臣代理ほか1100人余の弔問者でしめやかに催された。献花する県山祭主(知事職務代理者)

くぐり、県議会議員や県庁幹部らに迎えられて、惜別の情をあとに祭壇に安置された。
二十八日十二時四十五分。御遺族に抱かれた御遺骨は、故中田幸吉富山県知事富山県葬の会場、県民会館ホールに向けて知事公舎を出発。松川べりを静かに進む車の列は、県庁内祭壇に弔問する方々に見送られて会館正面に到着。祭主栗山庄司(知事職務代理者・副知事)、葬儀委員長浅地央(県議会議長)らが迎えに立つ。
富山室内合奏団が奏でる「主よ人の望みの喜びを」(パッパ作曲)が流れるホールへ御遺骨が入場、弔問者一同起立、合掌して迎える。
式次第は別表のように執行されたが、在りし日をしのんで中田知事の雄姿や声がフィルムで上映された時は、十年九カ月の追憶が胸をかすめるのか、暗い場内に白いハンカチが動くのが印象的であつた。
長身であつた中田知事をほうふつとさせる長大の遺影を、菊

10	10	9	8	7	5	4	4	1	1	1	1	8	8	8	7
21	9	9	5	28	12	27	23	20	14	11	11	29	23	23	20

立山自然保護センター完成
富山新港グリーンベルト建設着手
第1回青少年美術展開催
消費者問題懇談会開く(全国初)
富山県立自動車専門学校(全国初)
富山県立自動車専門学校(全国初)
県立文化センター完成
小杉流通業務団地造成用地の覚書に調印
交通管制センター開所
緑化センター設置
「みんなの県政推進委員会設置
置県の日に「1日所長」を実施
常陸宮御夫妻御臨席で「全国野鳥保護のついで」を開催
県民スポーツ大学校開校
県政親子バス教室スタート
社会福祉総合施設に高志学園、高志看護学校が開校
三笠宮御夫妻御臨席で「全国レクリエーション大会」開催
県青少年保護育成条例施行
岩瀬スポーツ公園オープン
堤長日本一、高島砂防ダム完成

2	11	10	10	10	9	6	6	5	5	4	4	4	1	12	12	11
1	13	21	30	28	25	11	6	6	5	18	15	13	13	30	27	21

中田知事三選
「コミュニティ・カレッジ」構想(国立高岡産業大学)発表
県立大長谷第3発電所建設決定
住みよい富山県をつくる総合計画の修正計画を答申
中田知事、日ソ漁業交渉で訪ソ
日中ダム建設事務所開所
立山山ろくレクリエーションセンター地区整備事業着手
県栽培漁業センター完成
県民大学校に専門講座を新設
県立子無川ダム完成
中田知事、ブラジル日本移民70周年記念式典、出席のためブラジルへ
広域基幹幹線道大江山線起工
富山職業訓練短期大学開校
県民会館内山分館オープン
五箇山刀利自然休養村開園
県青年の船農業部門(初)アメリカへ出発
東海北陸道整備計画決定
県立美術館収蔵作品展
新幹線対策空を設備

消費者の声を直接聞いて消費者行政に反映
フランス生まれの4人乗りカプセル型コンドローは北陸初、全国で4番目
富山市内の信号機を「コンピュータコントロール」で、車の流れが円滑
県民が県政に参加する中から自治意識を高めてもらいたい富山県づくりをしよう、と、各界代表者13人を委嘱
「育てよう、野鳥の歌」豊かな自然をテーマに、県外から5300人、県内から10000人が参加した第1回の「パレ」ボールには、東洋の魔女を育てた故大松博文氏を講師に招く
青少年に有害な図書等を指定し、販売禁止にする等厳しく取締る

実社会ですぐ役立つ技術・技能の免許取得を中心とした学府を意図した
重点目標として、若者が多い活力ある人口構成と、豊かた心のかよい合う社会の実現を力かける
県宮かんがい排水事業等着工の運びに
獲る漁業から育てる漁業への転換目指してマダイ、クルマエビの採卵、孵化、稚魚を放流
魚津市市街地の水害の悩みが解消
高岡・水見、小矢野3市と福岡町の水不足を解消
富山・高岡・新湊・射水地区の工場へ日量15万トンを給水
中小企業に各種情報を提供
近郊10人立ち、遠郊6人立ちの射撃を設け、夜間照明も完備
富山市城南公園に建設される。55年12月に完成、66年初夏に開館する予定
第3次緊急医療施設として24時間体制でオープンしたセンターは、O.T.S.キヤナードと最新医療機器を配備している
従来の競技スポーツ(1・2部)に加えて3部が設けられたことで、文字どおり県民参加の祭典となった
成人病予防と健康づくりの中核基地

55年1月1日現在の県人口は110万7100人となった
58年1月1日に富山市水橋、長羽、福岡、大門町に4校を建設
空港シエツ化へ。開港予定58年

8	8	7	7	7	6	6	3	3	2	1	1	11	11	10	10	8	8	8	4	4	4					
30	11	29	25	14	27	19	4	29	24	29	28	31	1	29	10	9	20	10	17	17	5	5	4	4	4	1

県漁業調査船立山丸竣工
県政物価バス教室第1号発車
第1回婦人問題懇談会開く
6月定例県議会で中田知事最後の演壇に立つ
富山人材銀行オープン
自然博物館センター起工
心身障害者福祉バス「おあやの」がスタート
富山市で北陸新幹線建設促進決起大会開く
砺波青少年の家オープン
県立高岡自動車専門学校完成
北陸新幹線加越トンネル調査杭試掘着工

生産・流通施設を紹介し、物価のしくみを目で見て、感じていただく
「富山県民の10年」の中間年を迎え、婦人を取りまく問題について、各界各層の代表者に話し合ってもらいたい、県施策に反映させる
席上、中田知事は新幹線着工にむけて、なみなみならぬ決意を表明。この大会が中田知事最後の公式行事への出席となった。



日本ボーイスカウト富山県連盟長としてスカウトたちから絶対の信頼を得ていた



県民とのふれ合いを大切にし 知事と語る会などを催し 多くの方々の意見や要望もつぶさに聞くことに努めた



運動神経も優れ フォークダンスなども器用にこなした 岩瀬スポーツ公園



山登りが趣味で 県内外はもちろん世界の山を数多く制覇(は)した



在任中いくつかの災害を受け、防災のため各種の想定を企画・訓練した



人生を語り合い学問に情熱を傾けた学生時代を懐かしむ 富山高校同窓会で



共同募金や交通安全など、率先して街頭に立ち協力を求めた (50年10月1日)



県政バス教室事業は大好評で総合数1170台 延べ59,485人(55年9月17日現在)が県施設を見学 勉強した



長身の中田知事は自転車に乗るのもひと苦勞 それでも中央サイクリングロードの完成に顔もほころぶ(49年4月27日)



皇太子御夫妻が冬季国体に御臨席になるのは初めてとあって おおやま国体に大いに活躍する中田知事

北陸新幹線建設促進決



北陸新幹線建設促進決起大会(55年7月29日)で「早期着工を」と訴える中田知事 新幹線に心血をそそいだ10年9カ月の総決算にふさわしくこれが公式行事への最後の出席となった

活躍(財)富山県産業情報センター

昨年四月、富山商工会議所ビルにオープンして一年半。この間、情報相談、資料閲覧に訪れたのは延べ千五百人に達しています。

広々とした資料閲覧室には図書が三千冊、雑誌七十三種、機関誌百五十誌、新聞二十三紙などを開放的に陳列。このほか、県内産業の業種別ファイル九十冊、ビデオテープ百本も用意されています。

情報相談にみえた人には専門の相談員が応対し、必要な情報を提供しており、中小企業家必読ともいえる情報を盛り込んだ月刊情報誌を二種発行しています。



情報相談には専門相談員が応対
電話・郵便での相談も受け付ける

このほか、センターが行なっている特色ある事業は関連業界ごとの情報懇談会。これは、例えば住宅関連業界という具合に、関連業界間の情報交換の場を提供し、他の業界のニーズも吸収しようというものです。



情報がぎっしりつまった資料閲覧室

さらに、ことし九月からは外国文献の翻訳サービスも行っています。これは、企業が外国文献等の翻訳をする際の不便を解消しようとするものです。

この産業情報センターが活躍している富山商工会議所ビル九階には、ジェットロ富山貿易情報センター、北陸科学技術情報センターも設置されています。

この二つの情報センターは、それぞれ貿易・技術に関する情報を提供していますが、産業情報センターを含めたこれら三センターは、相互に連携をとりながら一体的な情報サービスを行っています。

なお、北陸科学技術情報センターでは、東京の日本科学技術情報センターで収集した世界の科学技術文献を、コンピュータ端末機を利用して検索できるようになっています。(表紙はセンターに備えられた情報資料)

10月号 ● もくじ

活躍続ける産業情報センター	表紙・8
中田幸吉富山県知事逝く	表2・1~7
上昇率低い県内第3次産業 県産業構造研究会が報告	9~11
市町村民話⑨城端町	
繩が池のお女郎はん	12~13
中高年齢者雇用・60歳へ定年延長 を実現しよう	14~15
昭和56年は国際障害者年 完全参加と平等	16
身近な自然のスライド写真を募集	17
へき地医療に挑む 自治医大卒の若き医師の活躍	18~19
相談室⑨	20

薬と健康の週間	20~21
暮らしに花を・心に潤いを チューリップを咲かせよう	21
こんには／県警音楽隊です	22
心がけよう安全運転	23
新雪期の山岳遭難防止	23
かしこい消費者③ 消費者信用を考える	24~25
トビックス・県政の動き・お知らせ	26~27
家庭の省エネルギー・ここがポイント	28
10月のテレビ広報	28
9月1日防災の日 伏木で石油コンビナート防災訓練	表3
県立図書館はあなたの調査部	表4

上昇率低い(全国比)県内第3次産業

県産業構造研究会が報告



第3次産業の分類

- ◆事業所向けサービス
 - 卸売業、運輸通信業、情報処理業
 - など事業活動に伴って必要とされるサービス産業
- ◆個人向けサービス
 - 小売業、飲食店、旅館業、理容業
 - など消費者を対象とした幅広いサービス産業
- ◆公共サービス
 - 医療、教育、社会福祉などの公共的なサービス



振興ビジョンの具体化が急務

「豊かで住みよい地域社会」をつくる上で、第3次産業の果たす役割には大きなものがあります。単に就業の場としてだけでなく、他の産業の活動を助ける機能として、人々の生活の利便さ、快適さを高めるものとして、今後の第3次産業の発展、振興に期待がかけられています。

このため、富山県産業構造研究会(会長・秋田邦夫富山大学教授)では富山県の第3次産業の問題点と振興方策について、五十二年以来調査研究を進めてきました。

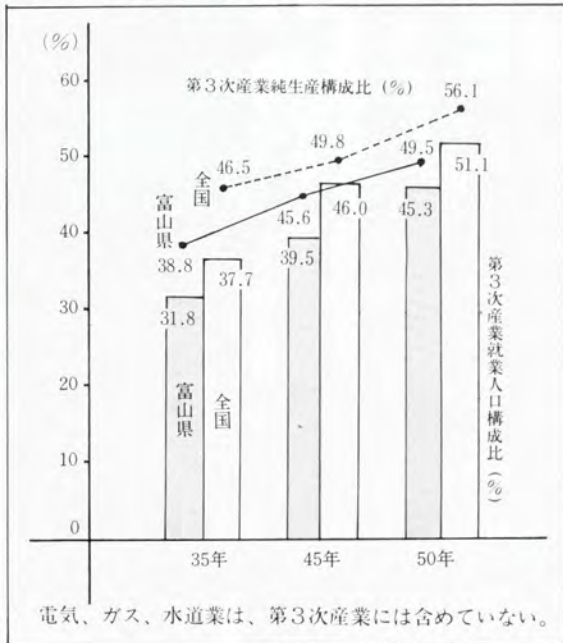
以下、その結果の概要を紹介しましょう。

全国比で下位にランク

県民所得順位の低下にも影響

富山県の第三次産業の動きをみると、その比重は年々上昇し、合には、まだ低い状況にあると

図1. 第3次産業の推移



電気、ガス、水道業は、第3次産業には含めていない。



表1. 富山県の全国での位置

	35年	50年
1人あたり県民所得順位	9	15
県内純生産構成比順位	第2次産業	12
	第3次産業	12
人口順位	34	36

いえます。特に、第三次産業の県内純生産における構成比は、昭和三十五年から五十年にかけて大幅に低下しています。(表1)そしてこのことは県民所得順位の低下にも影響していると考えられます。このように富山県の第三次産業の発展が遅れている原因として、研究会では次の点を指摘しています。

弱い産業間の連携
生産過程で、第一、二次産業と第三次産業とは互いに依存しあっているものです。ところが、富山県の場合、この結びつきが弱く、他の産業の発展が必ずしも第三次産業の発展につながって

ていません。また、県内の人口高齢化は全国平均を大きく上回るペースで進んでおり、これも大きな要因と考えられています。

低いサービス支出
富山県の家計消費支出の特徴として耐久消費財への支出が多く、その反面、サービスへの支出が少なくなっています。

人口集積の低さと高齢化の進行
第三次産業の発展のためには人口の集積が重要な要素と考えられています。ところが、富山県の人口の動きをみると、昭和三十五年以降の約十年間は減少または横ばいであり、その後の上昇率も高くはありません。

第3次産業振興のために
その役割の理解が重要

また、県内の人口高齢化は全国平均を大きく上回るペースで進んでおり、これも大きな要因と考えられています。

県民の意識にも問題が
昨年の県政世論調査により、まず、将来富山県が工業県として発展することを望む人が多くなっています。

また、NHKの県民意識調査をみると、「ふだんの生活を切りつめてもお金や財産を残したい」とする人がかなり高くなっており、サービス支出面の特徴をみることであります。

第三次産業を考える場合、次の三点が重要だと言えます。まず一つは、各産業は互いに依存し合っていて、各産業の均整のとれた発展が必要だということです。

二つめは、今後の富山県の産業の知識集約化のために果たす

役割を、十分に認識する必要があるということ。

そして三つめは、第三次産業の特性に留意して、地域の実情

に即した対応策が必要だということ。

基本的施策の方向

これらのことを原点として、産業構造研究会は第三次産業を振興するための方策として、次のような提言を行っています。

産業基盤を整備する

行政の果たすべき役割として、交通体系と都市環境の整備、産業や消費者の必要とする情報の提供、資金調達方法の補強を

上げています。

技術の振興

第三次産業も、今後ますます高度な技術が求められるようになります。このような新しい技術の開発と人材の養成のための技術訓練が必要です。

教育・医療の充実

教育と医療の充実は、県民が必要としているものの中でも上位にあります。これらの充実は人口の集積と産業の誘発の面

からも大きな効果が期待できます。地域経済の発展にとって観光の果たす役割には大きいものがあります。富山県は、これまで自然観光に力点がおかれてきましたが、今後は文化・歴史を対象にした観光資源の開発を行う必要があります。

文化観光の促進

以上をふまえて、早急に取り組むべき具体策として、次の点が指摘されています。

▼第三次産業振興の基礎として所得、雇用、都市形成に果たす役割を県民のみなさんに理解し

具体的施策

てもらう。

- ▼情報機関の整備や文化施設への重点的な投資など、都市機能の整備を進める。
- ▼産業展示館の建設や魅力ある商店街づくりなど、商業機能の強化をはかる。
- ▼観光事業に従事している人の研修や文化財観光ルートの設定
- ▼中小企業研修センターの整備や中小企業大学の地方分校を誘致するなどの人材の養成
- ▼産業間の連携を強め、第三セクターの役割を重視するなど、総合的な産業振興策を推進する。



高齢化社会がやってくる

中高年齢者雇用を促進しよう
60歳へ定年延長

5人に1人が高齢者の時代へ

全国水準より10年も早い富山県

わが国の高齢化社会への移行はアメリカの四倍、イギリスの三倍というスピードで進行しています。全労働力人口に占める五十五歳以上の割合をみても、昭和五十年の十五・一割から、六十年には十八・四割へと高まるものと予想され、近い将来、五人に一人が高齢者といえる時代を迎えることは明らかです。

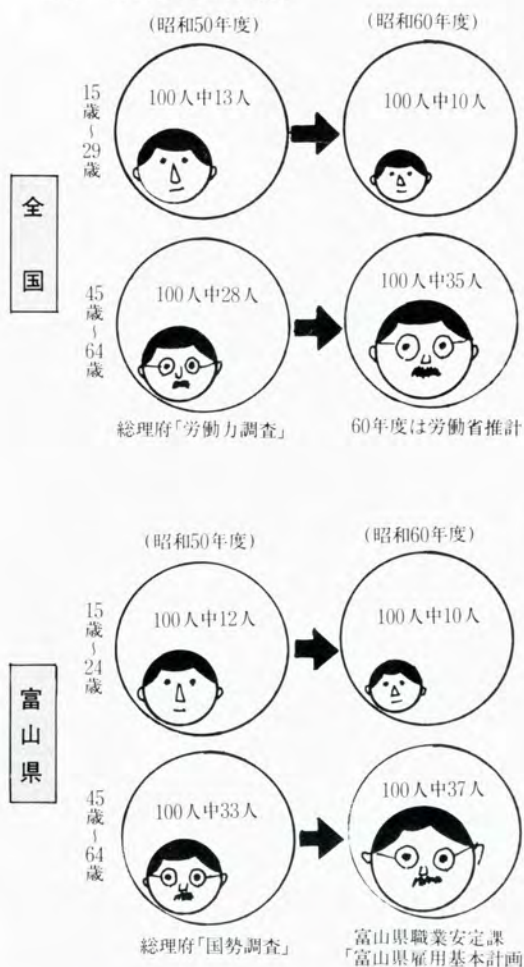
また、富山県の場合、高齢化はもっと早いスピードで推移しており、全国水準に比べ十年も早く高齢化しつつあります。

一方、最近の労働市場の動向をみてみますと、常用有効求人倍率は再び水面下へと下落し、ことに中高年齢者層をとりまく雇用環境は依然として厳しいものとなっています。

このため、国・県においては、この十月を「中高年齢者雇用促進月間」と定め、雇用促進のための一大キャンペーンを展開しています。

事業主のみなさんには、定年の延長、中高年齢者の雇用促進に努めてくださるようお願いいたします。

図1. 労働力人口の構成



昭和60年 ▼ 60歳定年の一般化を目指して

全国ベースで行った雇用管理調査によりますと、わが国の一律定年制の定年年齢のうち、六十歳がおよそ四割に達し、ここ二～三年のうちに五割に達するものと見込んでいます。(図2)

高齢者の雇用の安定、確保のために、国・県では定年延長の促進を図っています。

これは、高齢者の再就職が著しく困難であること、高齢者の職業知識と豊かな経験を有効に生かすのは同一企業内であること、今後の労働力高齢化に伴い若年労働力が必然的に不足するので中高年齢者を有効活用する体制をとる必要があること等の理由で定年延長が望ましいと考えるからです。

事業主のみなさんには、労使の合意を図りながら、また、各種の定年延長等についての援助措置の活用を図りながら、六十歳定年一般化を広げるためご協力くださるようお願いいたします。

図2. 一律定年制実施企業における60歳定年割合

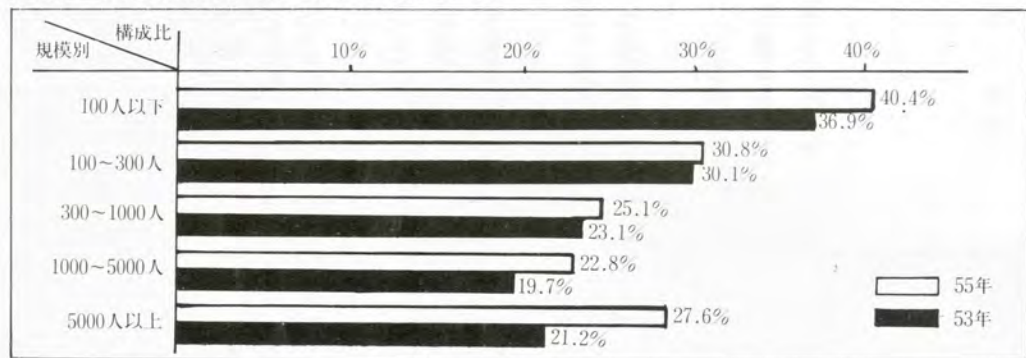


表1. 定年制に関する勤労者意識

	定年年齢延長について					
	延長を望む	今のままでよい	定年年齢前定年扱い	定年制廃止	関心がない	わからない
調査者計	30.8	24.0	13.5	9.2	13.0	8.3
男子計	33.9	24.8	14.7	8.7	11.2	5.8
19歳以下	18.6	17.5	12.9	5.7	25.4	18.7
20～24歳	20.6	16.4	14.1	9.9	27.7	10.1
25～29歳	27.0	22.1	17.3	8.8	16.8	7.6
30～34歳	33.1	21.3	18.7	7.4	13.2	5.6
35～39歳	38.7	25.8	13.6	9.1	6.9	5.2
40～44歳	39.9	30.7	13.0	7.7	4.0	3.6
45～49歳	42.0	32.0	11.7	9.1	2.4	1.8
50～54歳	45.5	29.8	10.8	7.7	1.2	3.5
55～59歳	41.8	30.7	7.4	14.1	1.7	3.2
60歳以上	32.4	33.6	7.7	14.0	4.3	7.0
女子計	22.6	21.9	10.7	10.5	17.8	14.5
19歳以下	11.0	20.4	8.7	9.1	25.7	21.2
20～24歳	20.2	16.0	12.8	8.9	23.9	17.0
25～29歳	23.9	16.7	11.1	13.9	19.3	13.0
30～34歳	26.2	19.0	14.4	9.0	14.2	14.0
35～39歳	27.6	27.1	9.1	7.0	11.6	15.7
40～44歳	26.0	32.8	7.5	12.9	10.5	8.7
45～49歳	27.4	37.3	6.1	12.8	6.5	7.7
50～54歳	29.2	37.3	7.1	12.1	3.2	8.7
55～59歳	30.4	26.4	9.7	14.0	5.4	10.3
60歳以上	25.1	37.2	3.2	15.0	1.9	17.7

(注) 重複回答有 [資料出所] 労働省「勤労者の職業生活に関する意識調査」(昭和52年7月)



縄が池のお女郎はん

ぶん・藤井一男(城端小学校校長)
え・山村千春(城端小学校六年)

(不転載)

なんでも千年も前の話じゃから、気の遠くなるような昔のことじゃ。

養谷に藤太ちゆう若者がいてのー、これが武芸百般というから、剣術でも繩術でも鎖鎌でも槍でも術でも何でもこなす豪の者じゃったそつな。

たまたま京都においてになるお天子さまがこの話をきいて、せひ会いたいとお呼びになつた。

お天子さまが藤太と話したり、武術の試合をさせたりしてみても、さすが世にきこえた武勇の者じゃと感心されて、たくさんの褒美を与えたつえ。

「その後、佐藤大藤原秀郷と名のるやつに、と有難い名前まで頂戴したと。

すつかり感激した藤太は意気揚々と養谷へ帰る途中、近江の国、琵琶湖に力かる世田の唐橋を通りかかると、突然ひとりの美しい女性むすめがあらわれてハラハラと涙を流し、

「わたしは琵琶湖に住む竜女です。あの三上

草を刈っていると、どうしたはずみか手に持っていた鎌がツルツルと滑って、あっ！という間に、池にポチャンと落ちてしもうたど。「しまった。」と思うたがもう遅い。ピカピカ光る鎌がグルグル舞うようにして十ひろも二十ひろもある池の底に沈んで見えなくなつてしもうたど。

「ああ弱つたなあ。一挺たてしかないだいな鎌がなくなつては、あしたから仕事もできぬ。」と悲しんでいると、池の真中に綺麗な虹が立つたと思つたら、水が三尺一丈ほど盛り上がった。それがぼつかり割れたと思つたら、中からたとえようもない美しいお姫さまがあらわれたと。

「権助さんよ。わたしはこの縄が池の女神です。鎌をなくしては仕事もできませんまい。さあ、どうぞこの鎌をおつかいなさい。」
といて渡された鎌を権助はおいだだいて、ひよつと見て驚いた。

何とこの鎌は、今まで見たこともない黄金色の鎌で、背から刃にかけて鏡のように光る鎌の表面に、につこり笑つてこざる女神さまが写つていたと。

それからというものは、縄が池にはほんまにお女郎さまの神さまがこさつしやるという話を疑うものはいなくなつたがや、と。

山に住む大百足おやびやくが私の子どもをこつては喰い、こつては喰いしますので、どうかあなたの強力で退治してください。」
と、いつたど。

藤太にこつては、そんなことくらいたやすいくこと、早速十五人張りの言に、太めの鉄矢をつけて一ぱつてしとめたど。

「この子は、私の、ことし生まれた娘であります。きつと役に立つこともありません。ほんの心ばかりのお礼でございます。」
といて赤子の竜を一びきくれたと。

武芸百般何でもこなす藤太も赤子を買つてはお手あげじゃ。途中、難儀を重ねて養谷へ帰つたものどうしようもなくて、山の谷の水溜りに繩術の繩を張つて、

「お前は琵琶湖の水の中で生まれた子じゃろつ。この谷は、夏になると水が枯れて麓の田畑のりの作が悪うて困る。ここで水番でもしてくれや。」
と放したと。

それ以来、養谷の谷川は一晩で大きな湖になつて年百年中満々と水をたたえているがや。

「縄が池にお女郎様がいて水守りせつしやる。その証拠にあんな高いところに湖があるー人々はそう信じて、縄が池の竜女の神さまを大切に祀つてきたがやと。」

でも、そうはいつもの、池の竜女に会うたものはひとりもおらん。不思議じゃ、不思議じゃ、と心の底では誰もがおかしなことじゃと思つとつたど。

ある日のこと、権助ちゆう若者が、山の下





足もとにも 自然が

自然博物館センター(来春完成)で利用

物の生態、自然の風景、自然と関係する人間の活動、環境の変化など。
募集作品数 五百点
応募作品の取扱い
(1)作品は富山県自然保護課および

富山県自然保護課
富山市新総曲輪一七
富山 31-4-111

自然博物館センター

「身近な自然の再発見」をテーマに、県民だれもが自然に親しみ学べる自然教室として計画されたもので、婦
中町吉住地内に来春完成する予定です。
このセンターには展示室やレクチャールームが設けられ、ナチュ
ラリスト(自然解説員)が興味深い自然解説を行うことになっています。

身近な自然のスライド写真を募集

いつも何気なく目にしている身近な植物や小動物。でも、注意してみると、案外少ないものですね。

県ではいま、これらの身近な自然の再発見をテーマとして、県民公園の一角に自然博物館センターを建設しています。来春

完成予定のこのセンターでは、展示物やスライドを通して利用

者にやさしく自然を解説する予定です。それが、それを利用するカラー・スライド写真を次のとおり募集します。

応募規定

募集期間 十一月一日〜三十日

使用フィルム 35mmカラー・スライドフィルムまたは6×6版以上のカラー

スライドフィルム
作品内容 県内の身近な自然界の動・植物

品など、たくさんの方の力作を期待しています。

び財団法人富山県民福祉公園が審査します。

(2)応募作品はすべて五十六年二月末日までに返却します。

謝礼 作品の著作権使用料は、一点につき千円とします。

応募の注意

(1)作品は一枚ごとにマウントに氏名・撮影対象・撮影場所・撮影年月日を記入してください。
(2)一人あたりの応募作品数は制限しません。

作品の送付先

富山県自然保護課
富山市新総曲輪一七
富山 31-4-111

11月9日

は投票日

富山県知事選挙

シンボルマーク



二人のひとが手を取り合い、平等な立場でお互いに支え合っている姿を表わしています。

来年は「国際障害者年」。障害者の「完全参加と平等」をテーマとしたこの障害者年は、国連で定められたものです。

現在地球上には推定で、4億5千万人の心身障害者がいるといわれています。

ちなみにこれも推定ですが、日本国内には450万人、富山県には4万5,000人の心身障害者がいるといわれています。

「完全参加と平等」というのは、これら全ての人たちが社会の一員として認められ、社会、経済、文化活動に際しては

- ・活動方向の決定に参加できる
- ・社会発展の結果を教育、雇用、文化等の部門で平等に享受できる
- ・活動について責任を負うことができる

昭和56年

国際障害者年

完全参加と平等

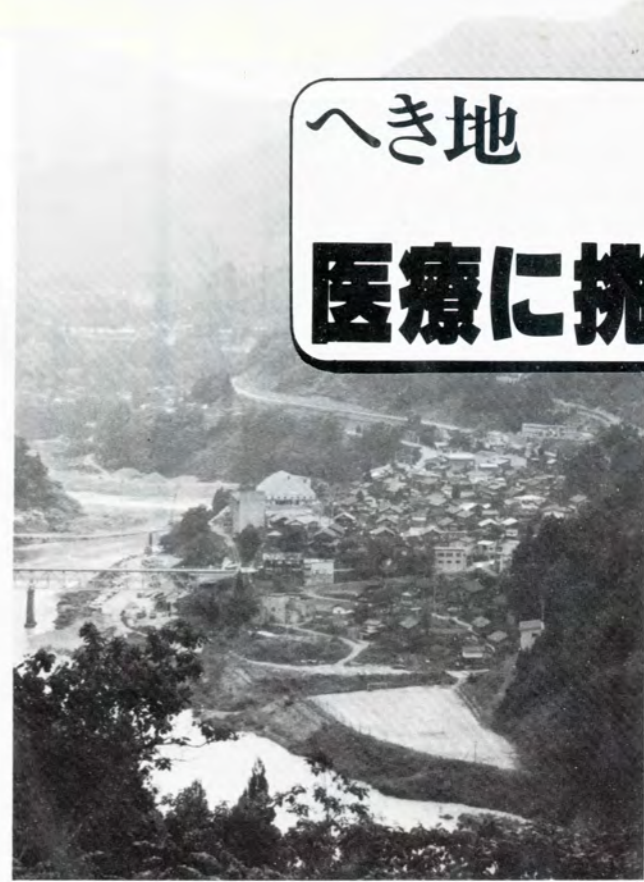
このような社会をつくることを意味しています。

県ではこの趣旨に沿って、国際障害者年を記念するにふさわしい事業を実施するほか、長期行動計画を定めるなどして、関係団体と県民のみなさんの協力を得て、とり組むことにしています。

地球上に 人

450,000,000

心身障害者推定人口



へき地
医療に挑む

自治医大卒の若き医師の活躍

門かど口アサさん・七十六歳
(上平村在住)

私は血圧が高くて、診察を受けています。これまでは週に一回しか先生が(村に)来られなかったの困っていました。ことしの六月から戸島先生・中林先生が(毎日)月曜以外来てくださるようになって、身体の具合もだいぶよくなりました。

喜びの声



町村圏に一カ所ずつ、県内で四カ所程度指定整備することになっています。

そして自治医大出身の医師をまずこれらへき地中核病院に配置し、ここを基地にしてへき地医療活動をより有意義なものにしたいと考えています。

城端厚生病院は、昭和五十四年度に指定整備されたへき地中核病院第一号で、この二人は年間百三十回以上(三日に一回)平村・上平村・利賀村等を含めた広範囲の地域の巡回診療のため、スタッフ(医師・看護婦・技師等)の一員としてへき地住民の中にとびこんで活動しています。

また、交通が途絶える冬期には数日間にわたり診療所に泊り込み、診療を行うことにしています。

さらに、日常は、外来患者及び受持入院患者の診療はもちろん、救急患者が搬送された際は、昼夜の別なく率先して診療にあたるなど、地域住民の期待に応えるべく奮闘する毎日です。

この二人は、医療に恵まれない地域に献身する気概をもつ医師を養成するために、全都道府県で設立した自治医科大学を卒業し、その趣旨に共鳴した若き医師たちです。

県では、医療に恵まれない地域住民の医療を確保するため、へき地医療センターとしての中核病院を無医地区のある広域市



中林智之先生(27歳) 戸島雅宏先生(28歳)

ことしの六月一日から自治医科大学出身の医師二人が城端厚生病院に配置され、へき地医療に挑んでいます。

県の農業政策

定年退職後は、せめて自分の食へ物は、自分の手でつくり、老後の健康保持の上からも農地六十アールを耕作し、生産の喜びを味わい、生きがいとしたいと思つています。

ところが、県の農政は基盤整備を通して農民の育成ではなく、農家を企業化しようという方針のように見受けられます。農業を一律化する事は正しい政策に つながらないように思われますが。

回答 農業の役割は、第一義的には、農家経済の安定と食料の安定供給にあります。つまり、農家所得の面からみ

ると個々の経営は自由かもしれませんが、国民全体の生活を考えると安い農産物を安定的に供給する必要があるわけです。日本の農業とりわけ富山県の農業においても経営規模の拡大と生産性の向上を通じて、農産物価格の安定とコストの低下を図る必要があると思います。

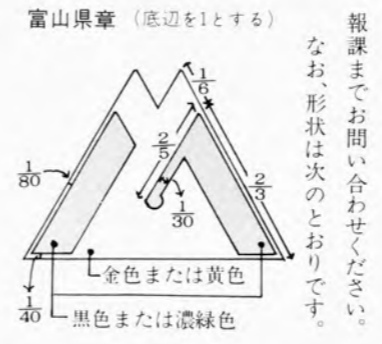
県章の使用

このためには、専業農家、兼業農家の話し合いを基礎として、地域の生活が潤い、地域農業全

体の発展こそが最も重要であると考えており、一律に農家を企業化する方針ではありません。従って、個々の農業経営を集団のために犠牲にする必要はなく、また、個人の信念に基づいて農業経営を行うものまで排除する考え方はありません。あくまで、地域全体の農業従事者が共存共栄し、「むら」が発展することを考えているものです。

回答 富山県章は、躍進富山県のシンボルとして制定したもので、広く県民に親しまれるとともに郷土愛と県民意識の高揚に貢献することを期待しているものです。

使用の際は県章としての品位と尊厳をそこなわないようにしなければならぬので、県広



報課までお問い合わせください。なお、形状は次のとおりです。

心配ごとはありませんか？

10月12日から18日は行政相談週間です。この期間に国や県、市などによる合同行政相談所を次のとおり開催します。

これは、役所や会社などの仕事に関して、日頃思っている不平・不満あるいは、いろいろな困りごとについて相談に応じるものです。この機会に、どんなことでも遠慮なく申し出てください。

▶合同行政相談所開設日程

- 大和アパート
- 10月13日(月) 大和アパート高岡店(5階)
- 10月14日(火) 大和アパート富山店(7階)
- 10月16日(木) 魚津サンプラザ(3階)

いずれも午前10時から午後4時までです。

正しい知識で正しい使用 薬と健康の週間 10/17 ↓ 10/23

「薬と健康の週間」です。これは、薬の特質やその取り扱いについていま一度考えてみよう、そして正しく理解しようという週間です。

薬は、私たちの病気の診断、治療そして予防のために使われており、この薬なしには現代医療が成り立たないと言っても言い過ぎではありません。

しかし、本来、薬は毒であるといわれるように、使い方によっては予期しない副作用で健康を害することもあります。

正しい知識で正しく使い、私たちの健康増進に役立てなければなりません。

薬を選ぶ前に 薬は少量で効果を発揮する反

暮らしに花を心に潤いをチューリップを咲かせよう

面、ほとんどが副作用をもって使います。また、薬は症状によってたくさん種類があります。自分の体質や症状にあった薬を使用するために、薬剤師等の専門家に相談しましょう。

また、容器や包装がいたんでいたり、表示が不明確なものは変質しているおそれがあるので、買わないようにしましょう。

「毒」「劇」「注意」「医師等の処方せん」指示により使用すること等の記載がある薬は、危険性のある薬ですので注意しましょう。

薬を使うわけにいきません。必ず専門家に相談しましょう。

薬を保管するときは

- ・子どもの手のとどかない所に保管しましょう。
- ・直射日光、高温そして湿気は薬の大敵です。湿気の少ない冷暗所に保管しましょう。
- ・誤用を避け、品質を保つため

に他の容器への入れ替えはやめましょう。

- ・古くなった薬は使わないようにしましょう。
- ・人間の身体には治癒力が備わっています。薬はこの治癒力を助けるにすぎません。薬ばかりに頼らず、身体の調子を整えるよう心がけることが大切です。

チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条

花は自然美の代表、人の心を和らげる可れんな妖精です。あなとも美しい花を植え、家庭や職場に潤いをもたらしてみませんか。《県花チューリップ》は、そのあてやかな色彩と草姿で、私たちの暮らしに優雅ないろどりを添えてくれるでしょう。

チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条

チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条

チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条



チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条

チューリップ栽培 美しく咲かせる4カ条



クラリネットを吹く顔も真剣そのもの。練習の成果を発揮しようと緊張感が漂う

こんにちは！ 県警音楽隊です

私たち県警音楽隊の演奏をお聞きになったことはありませんか。交通安全パレードや、防犯のつどい等で県下各地でドリル演奏を披露し、県民のみなさんに親しまれています。

私たちは、警察官や警察事務職員から編成され、ふだんは派出所、警察署、県警本部で仕事をしている、いわば兼務隊です。

昨年一年間、私たちは八十八回出演し、延二十万人の人たちに聞いていただきました。ことしも、富山・高岡・黒部市などすでに三十三回（八月十日現在）出演しています。

春から秋までは土・日曜日の行事が多く、休日を返上しての出演が続きましたが、みなさん



県警音楽隊は総勢29名 実力も高く評価されている

の大きな拍手に励まされ、私たち二十九人の隊員一同頑張ってきました。

特に、ことしは婦人警察官、交通巡視員等を中心に、女子カラーガード隊を編成し、ドリルの新しい目玉として好評を得ています。

私たちの出演を希望される方は、各警察署か県警本部総務課にご相談ください。



「今後の主な出演予定」

- ▼十月十九日 砺波市駅前通り 「市民と警察のつどい」
- ▼十一月十三日 富山市県民会館大ホール 「県民のみなさんに贈る音楽の夕べ」

紅葉の季節になりました。野や山を訪ねる若いグループ、行楽地に憩いを求める家族づれなど、ドライブの列が続いています。

例年、この時期は交通量の増加、疲労飲酒などが原因で交通事故が多発しています。

楽しく快適なドライブのため、次の点に十分注意しましょう。

- 車の点検・整備
出発前には必ずブレーキ、ランプなど十分に点検・整備をしましょう。
- 計画にはゆとりをもたせて
道路事情を交通情報センター（富山32-2223）に問い合わせ、休憩時間も考慮したドライブ計画を立てましょう。
- 安全運転
スピードに十分注意し、景色にみとれた「わき見運転」などないよう気を配りましょう。
- 飲酒は禁物
「ドライバー」としてアルコールは禁物。同乗者はもちろん大切な家族、友人のため、飲酒運転はやめましょう。

行楽シーズン

増える交通事故

心がけよう安全運転

しめたはず
しまったはずでも
もう一度

新雪期の山岳遭難防止

立山の紅葉シーズンも終り、新雪が降り積ると、室堂一帯は十一月下旬までスキーシーズンに入ります。

広大な立山一帯で雪煙を上げ、新しいシュプールを描きながらの滑降は、スキ一のだいご味といえるでしょう。しかし、山はすでに冬山となっていることを忘れてはなりません。

標高千五百メートルの室堂一帯は、天候の急変と複雑な地形などにより、例年事故が発生しています。

過去にも、スキー帰りの大学生等三十三人が天狗平で猛吹雪に遭遇して、うち七人が凍死しました。こうした痛ましい事故が多く発生しています。

立山でスキーを楽しむ方、なさんは、次の事に注意して事故防止につとめましょう。

① 風や地形等の影響によって積雪量が一定していないため、ハイ松や岩が露出している場合

② 天候が変わりやすく、激しい吹雪や濃霧にみまわれる事がよくあります。

所もあるので、滑降はコースの選定には十分注意しましょう。

軽装で出かけたり、方向を見失う事は命とりとなりますので、山小屋等の関係者によく聞いてから出かけた方がいいです。

空車には十分注意しましょう

全国防犯運動 10/11 ~ 10/20

消費者信用を考える

わが国の消費者信用取引、いわゆるクレジットは年々増加の傾向にあり、私たちの生活の中で重要な役割を果たしつつあるといわれています。

今回は、この「消費者信用」についてその概要、問題点等を整理してみたいと思います。

クレジット社会への対応

最近「信用も財産のひとつ」とする風潮の現われてでしょうか、私たちの生活の中に各種クレジットが急速に浸透してきており、クレジット等からなる消費者信用産業も、急成長しているようです。

この背景としては、多種多様なクレジットシステムが考案され、消費者がクレジットを利用しやすい状況になったこと、特にニューファミリーやニューヤング層が「クレジット時代」のけん引車になってきていること等をあげることができそうです。

若い世代の人達の間には、モノの入手を急ぎ、カネは後からとするクレジットを利用する例が増加してきています。

原則ですが、交換が同時に行われれば現金買いとなります。また、カネの給付(支払い)が後になる場合は、月賦等の賦払いあるいは掛け買いとなります。こ

の場合、消費者に「信用」が供与されているとみることもできます。この「信用」が「消費者信用」と称されているわけです。

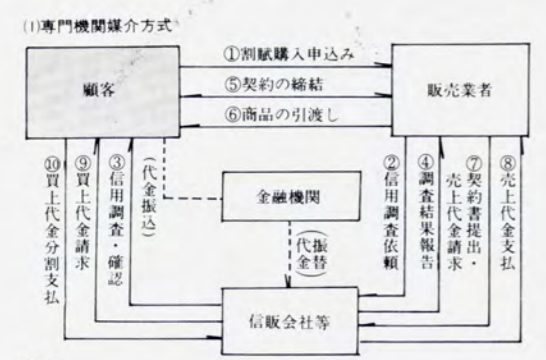
つまり、消費者信用とは、金融機関、生産者または販売者が消費者に対してその消費生活に必要な資金を貸し付け、または一定期間代金の支払いを猶予することをいいます。

わが国には、古くから質屋とか「頼母子」あるいは金貸しがありましたが、その歴史は、庶民の風俗史であるともいわれています。

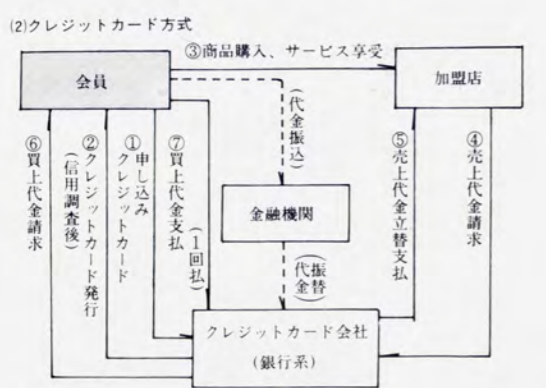
当時の消費者信用は、どちらかといえば赤字を補うことが目的で、生活を維持していくために、やむにやまれず借金に追いやられたケースが多いようです。ですから、借金は、何となく不健全なものと受け止められていたわけです。

今日、私たちが借金をするの

図1. 主な消費者信用の概略図



(説明) 販売業者は、信販会社と基本的な契約を取りかわしている。顧客が販売業者に購入の申込みをするとその書面が信販会社等専門媒介機関に渡り、信販会社等により信用調査が行われる。その後販売業者は顧客と契約を締結し商品を顧客に引き渡す。販売業者は専門媒介機関に代金を決済してもらう一方、顧客は代金を直接あるいは銀行を経由して専門媒介機関に分割して支払う(カードを利用する場合は事前に信用調査が行われている)。



(説明) クレジットカード会社と加盟店は、基本的な契約を取りかわしている。顧客がクレジットカード会社の発行したカードを利用して購入の申込みをすると加盟店は商品を顧客に引き渡す。加盟店は、その代金をクレジットカード会社に決済してもらう。一方顧客は、代金を直接または銀行を経由してクレジットカード会社に1回で支払う。



(説明) 金融機関と乗用車、電化製品等の有名メーカー、ディーラー等提携先企業との間にあらかじめ包括的な保証契約が締結されている。顧客が提携先企業に購入の申込みをすると、提携先企業は、信用調査を行った上金融機関に対して融資依頼及び信用保証を行う。顧客が、金融機関に融資の申込みを行うと、金融機関から提携先企業に融資が実行され、商品を顧客に引き渡す。顧客は、金融機関に分割返済する。

信用を供与するものとしては商人によるものと、金融機関によるものとがあります。また、販売信用は、融通を受けた代金を割賦方式で支払う方法と、クレジットカードを利用した非割賦方式があります。

最近の消費者信用に関する苦情も機構が複雑になればなるほど多様なものとなっています。例えば、信用を利用して購入した商品を解約しようとしても、すでに販売会社の債権が消費者がよくわからないうちに信販会社に譲渡され、そのため話が複雑化してきたり、また安易さからつい借りすぎになって重い返済に悩まされたりといった具合です。

今後ますますこのような消費者苦情が増えるように思われます。こうした状況に対応して、国民生活審議会消費者政策部会では、昨年九月に「消費者信用取引の適正化」についての調査、審議の結果をとりまとめ公表しました。その内容は、

- (1) 金利規制の適応化
(2) 信用供与条件の開示の徹底
(3) 契約内容の適正化
(4) 債務取り立ての適正化

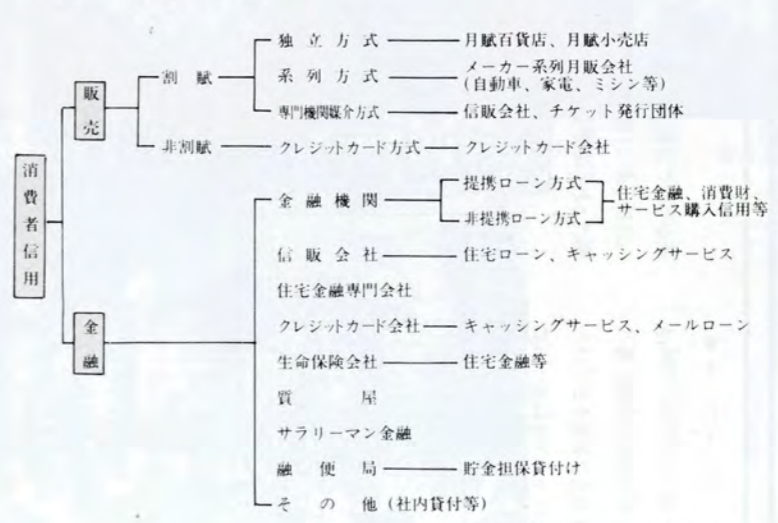
等六項目です。これらの提言に応えた、消費者信用に関する法的整備が早急になされることが望まれています。消費者信用取引の利点は、「今買って後で払う」という買いやすさにあります。しかしこればかりを利用してると、限られた収入で生活している私たちの生活は、破たんしかねません。今後は、こうした消費者信用

取引の法的整備が急務

消費者信用の仕組み、あるいは形態は、多様化しております

が、これらを類型化しますと、表1のようになります。

表1. 消費者信用の種類



資料*国民生活審議会消費者政策部会報告

は、こうした場合だけでなく、消費者信用にもとづき、生活の中に堂々と定着してきています。多くの人たちは、クレジットを

あたかも消費生活の潤滑油のごとく利用している面がみられます。

8月16日▶9月15日



8月20日

☒ 県婦人健康大学が開校

健康に関する理解を深めてもらおうと、「富山県婦人健康大学」が始まり、初日にあたる20日、富山市の市町村会館で開講式が行われました。この日参加したのは各種婦人団体のリーダーら約150人、河野俊一・金沢医科大学教授らの講義に真剣に聞き入っていました。

8月20日

☒ 消費者訴訟に費用貸し付け 消費者保護条例要綱成る

県民生活安定審議会では県消費者保護条例の要綱を発表しました。この条例の要綱は①危害商品の停止・回収等の勧告ができ、勧告に従わない場合は氏名公表を行える②消費者の苦情に関し、知事のあっせんや苦情処理委員会の調停に付すことができる③消費者の訴訟費用を貸しつける——など消費者保護の方策を盛り込んでいます。

8月22日

☒ 高岡産大創設準備に1,200万円 56年度の概算要求に盛り込む

この日開かれた自民党政調文教部会と文教制度調査会の合同会議で、文部省は、56年度概算要求のなかに国立高岡産業短大創設準備費として、総額1,200万円盛り込んでいることを明らかにしました。

8月24日

☒ 第1回県児童クラブ女子ソフトボール大会開催



越中・加賀を結ぶ長大トンネル工事は鉄建公団職員のクワ入れで、いよいよスタートした



午前11時半にプレイボールしたこの大会は、1回戦から熱戦を展開、男子顔負けの強打、好守ぶりを発揮しました。優勝チームは山王児童クラブでした。

8月28日

☒ 富山空港拡張に27億7千万円

58年開港を目指す富山空港の拡張整備事業費として、運輸省は56年度概算要求に27億7千万円盛り込みました。

8月29日

☒ 新幹線加越トンネル試掘着手 日本鉄建公団富山新幹線建設準備

10月の街頭献血日程

日曜	場所	時間	日曜	場所	時間
1日	大沢野町役場前	12:30~15:30	18日	魚津サンプラザ前	10:00~15:30
1日	婦中町役場前	10:00~15:30	19日	富山県庁前(ジャンボヤングフェスティバル)	10:00~16:00
2日	城端町役場前	10:00~15:30	21日	小矢部市役所前	10:00~15:30
4日	高岡駅前	10:00~15:30	23日	立山町商工会館前(立山町ライオンズクラブ)	10:00~15:30
5日	高岡市伏木福祉会館前(自治会)	10:00~15:30	25日	富山駅前	10:00~16:00
11日	富山駅前	10:00~16:00	25日	高岡駅前	10:00~15:30
12日	富山西武アパート前	10:00~16:00	26日	高岡駅前	10:00~15:30
17日	新湊市役所前	10:00~15:30			
18日	高岡駅前	10:00~15:30			



ソレノ人馬一体となった馬術の妙技 常願寺川緑地公園内馬場

事務所は、富山・石川両県を結ぶ長大(9.8)トンネルの調査坑のくわ入れを福光町人母で行いました。これは新幹線関係では県内初の大規模な試掘調査となります。

8月29日~31日

☒ 北信越国体開幕

北信越地区のスポーツの祭典、第1回北信越国体が開催され、31日までの3日間、各競技に熱戦が展開されました。

初日の29日にはサッカーが行われ、成年男子の部で富山県チームが優勝し、栃木国体への出場キップを手に入れました。

9月1日

☒ 伏木でコンビナート防災訓練

防災の日にあたるこの日、高岡市伏木の出光興産伏木油槽所と国分港で、県石油コンビナート等防災訓練が行われ、関係者ら650人が本番さながらに訓練活動を展開しました。(関連記事は裏表紙の見返しに掲載)

9月1日

☒ 国際障害者年(56年)推進本部が発足

この日、知事を本部長とする第1回本部員会議が開かれ、記念キャンペーン、障害者の雇用機会の拡大など、県内での取り組みについて話し合われました。

9月9日

☒ 老人若返り祭り開催(第2回)

県民会館で行われた老人作品展には日本画、洋画、手芸など424点が出展され、出来ばえのすばらしさに感嘆の声が聞かれました。

9月11日

☒ 県内有権者6千人増(昨年比)

県選挙管理委員会がまとめたところによると、9月10日現在の有権者数は男37万2,561人、女41万5,481人計78万8,412人となり、昨年同日にくらべ5,947人増えました。



● 県ウーマンフェスティバル記念講演

日時/10月19日(日)午後1時30分
場所/富山市第一生命ビル9階大ホール
講師/上坂冬子さん(評論家)
演題/「80年代の女性」
その他/入場無料
問合せ先/富山県婦人青少年課
(☎富山31-4111)

● 第8回ジャンボ・ヤング・フェスティバル

日時/10月19日(日)午前9時30分~午後4時30分
場所/県庁前公園一帯
行事/写真コンテスト・人形劇・音楽・露店・青空古本市・苗木球根販売ほか
問合せ先/富山県婦人青少年課
(☎富山31-4111)

● フードウィーク特別セール

フードウィーク(10月1日~14日)を記念して、期間中、食料品の割引「特別セール」が行われます。
参加協力は小売店、スーパー、デパート等県下約2,000店、ポスターで表示されています。

● 身近な自然のスライド写真を募集

期間/11月1日~30日
フィルム/35(ライカ版)カラー・スライドフィルムまたは6×6以上のカラー・スライドフィルム
内容/県内の身近な自然の動・植物の生態・自然の風影、自然と人間、環境の変化等
募集作品数/500点

作品の扱い/入選作品はナチュラリストの自然解説用スライドや展示、自然博物館センターでの環境教育に使用

謝礼/著作権使用料として1点につき1,000円
応募方法/作品1枚ごとにマウントに氏名、撮影対象、場所、撮影年・月・日を記入。
問合せ先/富山県自然保護課

● 省エネルギー展開催

日時/10月9日(木)~13日(月)
場所/大和富山店8階催事場
内容/パネル展示、省エネ・コンピュータ診断、各種アトラクション
問合せ先/富山県県民生活課
(☎富山31-4111)

● みんなの消費生活展開催

日時/10月9日(木)~13日(月)
場所/大和高岡店5階ホール
内容/「消費者保護条例」の説明、相談コーナー、洗剤の洗浄力テストほか
問合せ先/富山県県民生活課
(☎富山31-4111)



すばい救出に胸なでおろす一瞬



勢いよく放水 さすがの海上火災も...

燃えさかるオイルタンクも この陣容には ひとたまりもなく...



伏木国分港で重油流出 火災発生

県石油コンビナート等
総合防災訓練

去る九月一日、午後一時半。伏木国分港で重油揚中のタンカーから重油が海上に流出したとの通報を受け、直ちに巡視艇がオイルフェンスを張り油を回収。出火したタンカーに、海陸両面から一斉放水。ケガ人をヘリコプターで救出。

一方、陸上ではオイルタンクの腐食破損から大量の灯油が流出し、火災発生。陸上自衛隊が土のうを積み、消防車が一斉放水。ケガ人を救出。午後四時鎮火。

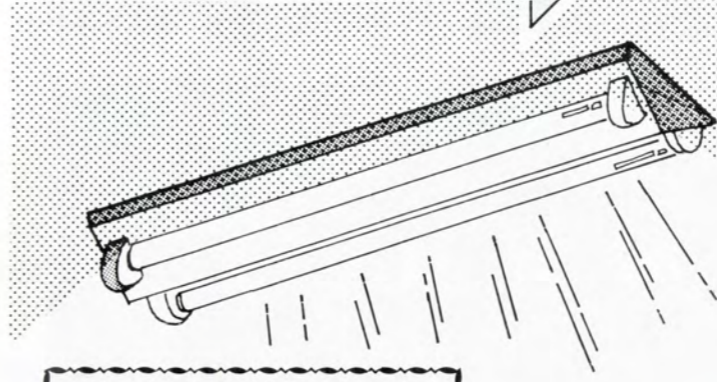
この大災害に付近民は懸命の協力を惜しまなかった。これは、防災の日(九月一日)に行われた海上、陸上にわたる大掛かりな「富山県石油コンビナート等総合防災訓練」の様相ですが、「災害は忘れた頃にやってくる」という教訓を、常にいかしたいものです。

私たちの新姿を美しく

シリーズ③ 家庭の省エネルギー ここがポイント

私たちの暮らしに欠かせない物のひとつに照明器具があります。最近の種類、デザインなども豊富になり、単に部屋を明るくしてくれるだけではなく、暖かなごやいだふん雰囲気、おちついたムードをかもしだしてくれま

さて、毎日利用するこの照明器具、上手な利用法は?



けい光灯と白熱電球

ポイント①

けい光灯は、白熱電球の三分の一の電気ですみ、一日五時間使った場合、二年以上長持ちします。部屋の用途を考えて器具を選びましょう。

ポイント②

照明器具は、はやくにそ

じしましょう。半年に一度のそうじでも二割がた明るくなり

ポイント③

照明の強さは部屋の大きさや目的に合っていますか。天井・

〈省エネ〉

これだけ
お得です

【照明】六十ワットの白熱電球を十五ワットのけい光灯にかえると(一日五時間使用)、一日約六円、一カ月で約百八十六円の得。

不要なときに消灯をこまめに実行すると(三十ワットのけい光灯を二時間消灯)、一日約二円、一カ月約六十二円の得。

半分は未発見

地球の石油埋蔵量

石油の埋蔵量が全部でいくらかあるかについてはいくつか説がありますが、一般には一兆バレルあるとするのが有力です。もっとも二兆バレル、いや四兆バレルあるとする説の支持

者も多く、いちがいにはいえません。仮に二兆バレルあるとすると、これまでの確認量を引きいても、あと半分は未発見ということとなります。

10月 テレビ広報

こんにちは富山県です 北日本放送 (毎週日曜日午前8時~8時30分)	放送日	110万人のひろば 富山テレビ放送 (毎週日曜日午前9時~9時30分)
秋・スポーツ	5日	はくらは生まれ変わったのように
これからの省エネルギー ~省エネルギー展から~	12日	私たちの新姿を美しく
消費生活の安定と向上を	19日	ろうあ者の手で手話劇 "おんによる座"
人材銀行にきく	26日	読書の秋2題

このほか新聞紙面広報として、毎月第 1 土曜日に「県からのお知らせ」、毎月最終土曜日に「みんなの泉政」(朝日毎日)には、県からのお知らせ(せ)を掲載しています。

今年は図書館法制定30周年です。

県立図書館はあなたの調査部

調査研究のための図書館

363,874—これは県立図書館の蔵書数（昭和55年7月末現在）です。このほか明治以来の新聞、雑誌、マイクロフィルムなどが備えられ、調査研究のための“データバンク”として、年間3万人以上のかたに利用されています。

図書館のための図書館

県立図書館は、市町立図書館からの求めに応じてその活動を援助する「図書館のための図書館」です。

例えば、市町立図書館にない本の補給、読書や資料調査に関する相談に応じたり、文献複写のあっせんなどのサービスを行っています。

保存のための図書館

収集した貴重な資料は、県民が長く利用できるよう、長期にわたって保存管理されています。

このように、県立図書館は県内唯一の保存図書館として、他の機関では果たせない役割を担っています。



図書館をもっと身近に暮らしのなかに